

その他報告事項について

地域限定型一般競争入札の地域間差について

1 平成24年第4回での地域限定型一般競争入札に関する質問

- ・地域限定型入札で地域によって落札率にバラツキがある。
- ・地域限定型入札だけを見ても難しいので、その他の仕組みも併せて考えないとならない。
- ・その地域では低い落札率が当たり前では。
- ・企業の大小により落札率に違いがあるのでは。
- ・測量に関しては、総合で判断すべき。

2 状況

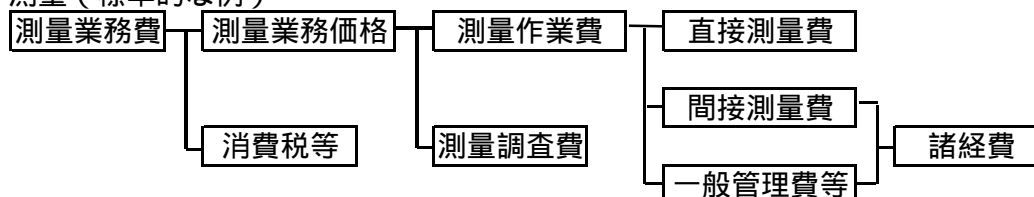
(1) 各業務ごとの落札率状況(別紙)

地域限定型入札以外の測量業務の低い落札率の地域	H24：渡島、檜山、オホーツク H23：石狩、渡島、檜山 H22：渡島、檜山、釧路
他工種の低い落札率	H24 地質調査：渡島 建築設計：渡島 H23 地質調査：渡島、上川 建築設計：日高、渡島 H22 地質調査：後志、上川 技術資料：渡島
低い落札率の地域	石狩、渡島、檜山、オホーツク、十勝、釧路

(低い落札率：ここでは、落札率85%未満と仮定)

(2) 測量業務の積算

- ・測量(標準的な例)



(3) 最低制限価格の算出

測量の場合

$$\text{直接測量費} + \text{測量調査費} + \text{諸経費} \times 4 / 10$$

ただし、予定価格の6/10～8/10の範囲内

地域限定型入札以外にも低い落札率となっている地域があることから、これらの地域では、低い落札率が常態化しており、最低制限価格付近が地域の相場観として入札が行われていると思われる。

最低制限価格の算出については、業務に直接かかる経費には最低制限率を乗じていないため、低い落札率については企業努力によるものであると思われる。

また、なぜその地域、その業務で低い落札率の状態にあるかの明確な理由は不明であるが、現行の入札制度に沿った競争が行われていると推察される。

各業務ごとの落札率状況(農政部)

	平成24年度															
	全体		測量						土木設計		地質調査		技術資料作成		建築設計	
			地域限定型		指名競争		計		指名競争		指名競争		指名競争		指名競争	
	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率
空知	221	93.0%	27	93.0%	22	93.1%	49	93.0%	98	93.4%	23	93.4%	51	92.2%		
石狩	25	90.6%	2	74.7%			2	74.7%	13	93.6%	4	89.2%	6	90.6%		
後志	16	93.7%	1	92.2%	1	93.1%	2	92.7%	7	94.3%	2	93.9%	5	93.1%		
胆振	33	93.2%			6	93.1%	6	93.1%	12	94.0%	5	93.5%	10	92.2%		
日高	38	93.3%	8	94.3%			8	94.3%	19	93.3%	7	92.5%	4	92.7%		
渡島	12	85.1%			3	80.6%	3	80.6%	3	93.7%	2	81.0%	3	85.1%	1	80.9%
檜山	10	91.1%			1	74.5%	1	74.5%	7	92.8%	1	92.2%	1	94.3%		
上川	100	93.5%	6	92.8%	14	94.6%	20	94.1%	39	93.4%	13	94.2%	28	92.9%		
留萌	20	93.4%			5	93.4%	5	93.4%	10	93.5%	2	92.4%	1	92.8%	2	94.5%
宗谷	13	92.3%			3	90.2%	3	90.2%	4	93.2%	2	93.3%	4	92.6%		
オホーツク	87	90.4%	4	73.4%	10	82.3%	14	79.8%	48	92.2%	9	92.9%	12	92.1%	4	94.9%
十勝	114	91.4%	7	74.3%	4	93.4%	11	81.3%	71	92.5%	10	93.7%	20	91.6%	2	94.3%
釧路	17	92.3%							10	93.3%	3	86.7%	4	94.0%		
根室	24	93.0%			6	93.6%	6	93.6%	14	94.2%	1	91.9%	3	87.0%		
計	730	92.3%	55	88.7%	75	91.1%	130	90.1%	355	93.1%	84	92.7%	152	92.1%	9	93.1%

	平成23年度															
	全体		測量						土木設計		地質調査		技術資料作成		建築設計	
			地域限定型		指名競争		計		指名競争		指名競争		指名競争		指名競争	
	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率
空知	180	92.7%	25	93.2%	38	92.1%	63	92.5%	60	93.2%	16	93.6%	41	92.0%		
石狩	15	90.1%			2	73.4%	2	73.4%	8	93.6%			5	91.1%		
後志	14	90.9%	2	92.6%	4	93.4%	6	93.1%	3	88.0%	1	94.8%	4	88.6%		
胆振	19	92.5%			6	95.6%	6	95.6%	3	92.8%	4	94.4%	6	88.0%		
日高	21	92.4%	1	94.5%	1	93.8%	2	94.2%	12	93.7%	4	90.9%	2	92.6%	1	79.0%
渡島	18	83.2%	1	75.0%	3	75.1%	4	75.1%	3	91.2%	3	81.6%	6	87.3%	2	77.6%
檜山	10	86.1%			3	75.3%	3	75.3%	1	91.9%	1	94.1%	5	89.8%		
上川	68	91.8%	7	91.8%	7	93.2%	14	92.5%	23	92.3%	6	82.6%	25	93.2%		
留萌	18	92.9%			2	95.2%	2	95.2%	7	91.7%	3	93.4%	5	93.5%	1	90.9%
宗谷	17	91.4%			3	91.0%	3	91.0%	8	91.7%	1	92.3%	5	91.2%		
オホーツク	63	91.2%			9	86.6%	9	86.6%	31	91.5%	3	92.1%	16	92.8%	4	92.4%
十勝	82	91.2%	4	73.3%	7	90.1%	11	84.0%	51	92.8%	2	90.9%	14	90.5%	4	93.7%
釧路	10	91.1%	1	73.0%			1	73.0%	6	93.6%	1	91.5%	2	92.7%		
根室	22	92.7%			3	92.2%	3	92.2%	13	93.5%	1	93.1%	5	90.8%		
計	557	91.6%	41	90.1%	88	90.2%	129	90.2%	229	92.6%	46	90.9%	141	91.6%	12	89.1%

	平成22年度															
	全体		測量						土木設計		地質調査		技術資料作成		建築設計	
			地域限定型		指名競争		計		指名競争		指名競争		指名競争		指名競争	
	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率
空知	213	92.1%	27	92.9%	45	91.4%	72	92.0%	87	93.2%	12	92.3%	42	89.8%		
石狩	16	92.6%			3	92.1%	3	92.1%	8	93.1%			5	92.2%		
後志	17	89.8%	2	94.3%	1	92.5%	3	93.7%	7	93.2%	2	77.7%	5	87.6%		
胆振	27	91.0%	2	77.6%	5	88.6%	7	85.4%	10	93.5%	5	91.8%	5	93.1%		
日高	20	91.7%	2	93.5%	1	93.9%	3	93.7%	6	91.0%	6	91.8%	4	90.2%	1	95.9%
渡島	13	82.6%	2	74.9%	2	75.5%	4	75.2%	4	91.6%			5	81.3%		
檜山	11	85.7%			2	75.0%	2	75.0%	3	89.1%			6	87.5%		
上川	82	92.4%	4	92.1%	8	94.4%	12	93.6%	39	93.3%	4	76.7%	27	92.9%		
留萌	15	94.2%			3	95.1%	3	95.1%	5	94.0%	2	93.2%	5	94.4%		
宗谷	29	92.2%			10	94.6%	10	94.6%	7	93.1%	2	90.2%	10	89.5%		
オホーツク	79	90.8%	2	73.9%	10	86.0%	12	84.0%	39	91.2%	6	94.4%	17	92.8%	5	92.9%
十勝	77	90.6%	3	64.4%	12	90.4%	15	85.2%	30	92.3%	5	93.1%	23	90.6%	4	95.1%
釧路	16	92.4%			2	83.4%	2	83.4%	9	93.5%			4	94.1%	1	93.7%
根室	30	93.1%			7	93.2%	7	93.2%	14	93.5%	2	94.2%	7	91.8%		
計	645	92.9%	44	88.6%	111	90.7%	155	90.1%	268	92.8%	46	90.6%	165	90.8%	11	94.1%

水産委託業務に係る低落札率について

考查項目					
【水産委託業務について】 ・水産委託業務は、沿岸漁場を整備する際の事業計画や工事を進める上で必要となる生物・環境調査、測量調査等 ・水産土木工事は他部門に比べて予算規模が小さく、また工事1件当たりの施工金額が比較的大きいことから工事件数は少なくなるため、工事に係る委託業務も少ない現状。 【H24事業規模：約48億円、工事件数58件(82,800千円/1工事当たり)】					
【落札率の推移状況について】 ・入札監視委員会資料より一部抜粋 ・H20～業務別平均落札率		H13	83.5%		
		H14	73.0%		
		H15	78.3%		
		H16	66.9%		
		H17	64.3%		
		H18	71.4%		
		H19	62.2%		
		H20	77.0%(測84.9%、設66.5%、調80%、資63%)		
		H21	66.5%(測62.4%、設70.6%、調89%、資64.5%)		
		H22	78.0%(測75%、調96%、資75.5%)		
		H23	76.3%(測74%、設77.2%、資76%)		
		H24	76.8%(測74.3%、設77.7%、調78%、資76.4%)		
【最低制限価格と応札価格について】 最低制限価格と応札額が1,000円以内の業務件数 ()は発生率 (下段：上記のうち最低制限価格と応札価格が同額の業務件数)		発注件数	H22 8業務	H23 9業務	H24 22業務
			1(13%) (0)	4(44%) (1)	4(18%) (1)
【入札執行での失格者発生状況について】 入札執行の結果、失格者(最低制限価格を下回った)があった業務割合(発生件数/業務件数、ただし最低制限価格設定業務に限る) 〔最低制限価格は予定価格の測量・設計6/10～8/10、地質調査は2/3～8.5/10で設定〕		水産土木	4/7業務 57%	7/9業務 78%	15/22業務 68%
		森林土木	0/223業務 0%	0/219業務 0%	0/326業務 0%
【入札の競争性について(H24)】 ・入札参加事業者の競争性(入札参加事業者数/業務件数)			・水産業務1.36倍(30社/22業務) 〔森林業務の7倍、 農業業務の3倍の競争率〕 ・森林業務0.18倍(72社/405業務) ・農業業務0.44倍(321社/730業務)		
・入札参加資格者の競争性(入札参加資格者数/業務件数) (資格：土木設計、測量、地質調査、技術資料作成)			・水産業務90.4倍(1,989社/22業務) 〔森林業務の18.4倍、 農業業務の33.2倍の競争率〕 ・森林業務4.91倍(1,989社/405業務) ・農業業務2.72倍(1,989社/730業務)		

談合情報対応手続について【検討の方向性】

第1回入札監視委員会での質疑の内容

1. 談合情報対応手続

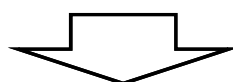
- ・事情聴取の方法論
- ・談合の疑いが強い場合の現状手続の妥当性
- ・未然に防ぐための厳しい独自基準の作成
- ・公正な入札制度を守るべく、手続全体の見直し



公取委へ確認

2. 発注制度

- ・随意契約などの発注制度の見直し



1. 「談合情報対応手続」の改正の検討

(1) 事情聴取の強化

事情聴取の結果、新たな情報が得られた場合、再度の事情聴取を可能とすることの明確化やその場合の聴取項目の検討。

(2) 事情聴取者の連携強化

事情聴取者は、場合によっては複数組が必要になる場合も考えられることから、1組を特定することはできないが、複数組とする場合でもできる限り組を少なくし、事情聴取者の連携の強化を図り情報共有をするよう指導。

(3) 入札執行の取り消しの可能性の検討

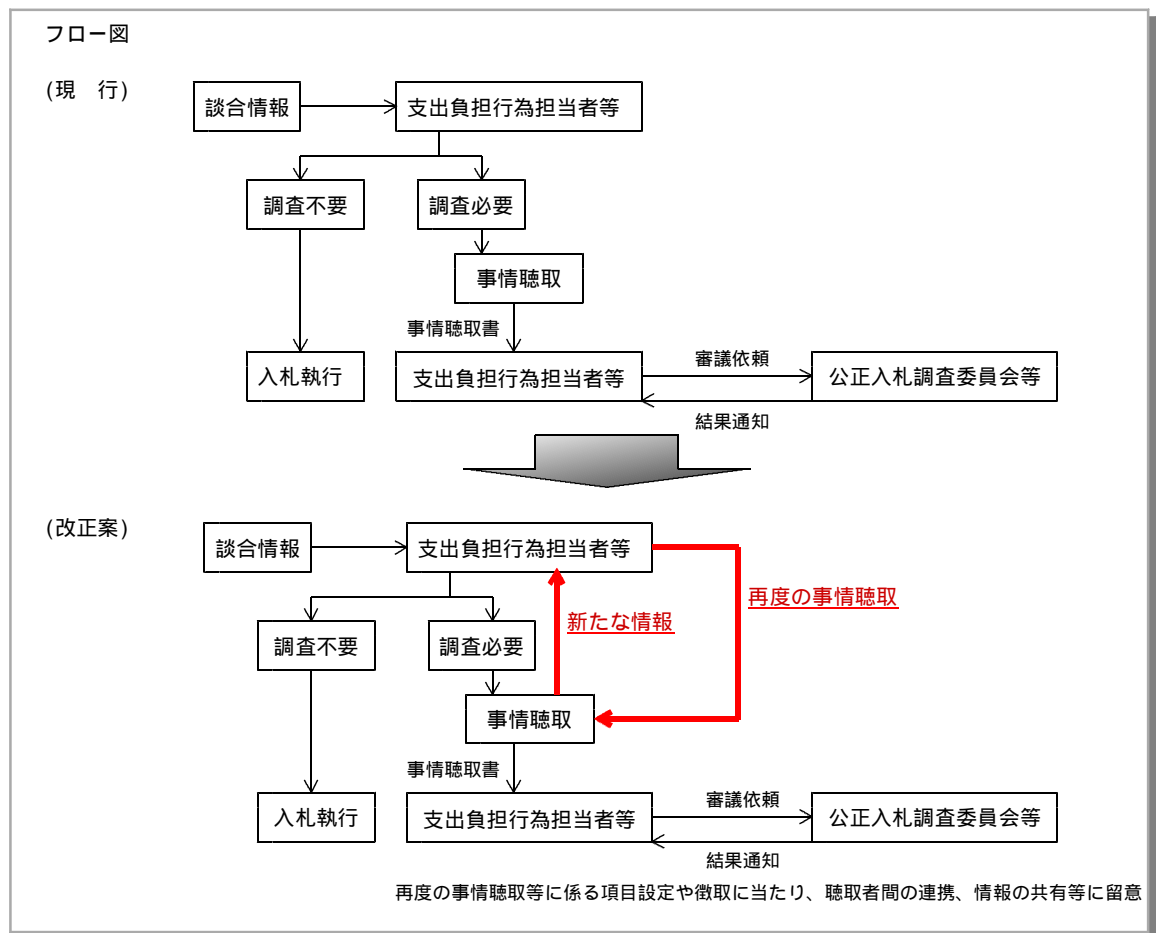
民法上、落札決定は契約の承諾と解されるため、公序良俗違反の事実がない限り取り消すことができないが、「談合の疑いが強い」場合、落札決定・入札執行の取消が可能かどうか、また、「談合の疑いが強い」場合の具体例の表記などについて検討

2. 発注制度について

契約方法について、地方公共団体では地方自治法以外の方法での契約方法は認められていないため、現在の発注方法を変更することができないが、随意契約においては、道では「予定価格が30万円以上」について、2者以上の者から見積書を徴し、国の取扱いの「100万円未満は見積書の徴取を省略」よりも厳しい基準を設け、競争性を働かせるようにしている。

談合情報対応手続について

- (1) 事情聴取において、新たな情報が得られた場合における再度の事情聴取について
- ・支出負担行為担当者等における再度の事情聴取を実施できることとする。



- (2) 契約の相手方を決定(落札決定)後に談合情報が寄せられたときの取扱いについて
- ・入札執行後、契約締結前において「談合の疑いが強い」と判断された場合において、落札決定及び入札執行の取消しが可能かどうかについて検討